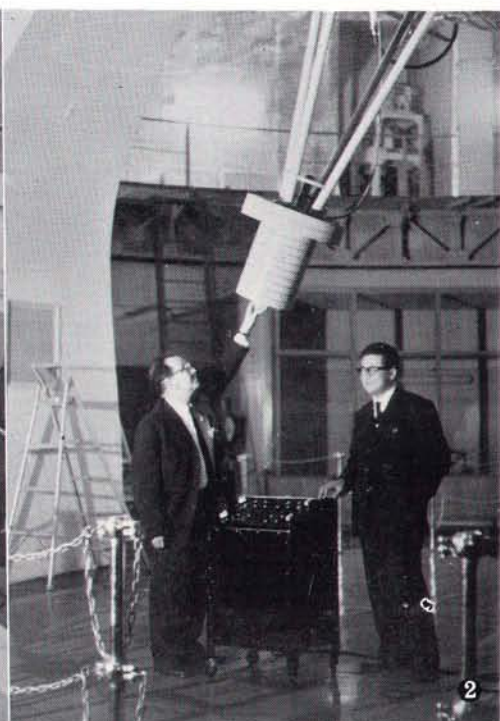




- ◇ **ハワイ大学の太陽観測所** ハワイ大学がマウイ島のハレアカラ山頂(海拔 3056 m)に建設中であった太陽観測所の建物がこのほど完成した(天文月報 1962 年 10 月号参照)。この建物には 4 つの研究室と観測控室の外に機械工作室, 電気工作室, 光学実験室があり, また 6 人分の宿泊設備や 75 kw ディーゼル発電機を備えている。観測機械は K-コロナメーター, 鉄緑線のコロナグラフ, H_{α} ヘリオグラフ等がこの夏までには据えつけられる予定である。



- ◇ **来日の天文家たち (1)** カーネギー・インスティテュート地球電磁気部のバーク (Burke), 4 月 10 日, 東大天文学教室にて, 左より, 日江井, 畑中, バーク, 河鱈の諸氏。



◇ 来日の天文家たち (2)

1 は三鷹を訪れたメキシコ・トナンチトラ天文台長アロ氏、(左)、右は広瀬台長、手前は大沢教授、シュミットカメラ室にて、2 は岡山天体物理観測所の 188 cm 望遠鏡ドームの昇降床上にて、左はアロ氏、右は石田氏、3 は岡山の大ドーム待機室で歓談中の(左より)末元、アロ、アラーの諸氏(本誌 121 頁参照)

なお、上記の諸氏のほかに、マンチェスター大学のコパール教授が3月27日来日、4月4日まで滞在された。

◇ ワシントン海軍
天文台の子午環

別項の安田春雄氏の訪れた、海軍天文台の6吋の子午環で、1は子午環とそのドーム、2は接眼部、3は赤経赤緯記録装置で、赤経赤緯測微尺の読みが数字で示されたり、プリントされたり、テープにパンチされる。

